

印南郡順禮記

昭和六年四月

加古川市立小野永直

豊樂寺 藏書印持子受贈

二十三日

夫觀世音は生佛一如の本體にして、人々本有の眞性なり。か
 が故に此本體を味ます者は、永劫に沈淪して三界に流轉じ此眞性
 を悟る者は當處に解脫して四生を超出す、先聖夙に此理を覺りて
 廣く利生の慈門を開き給ふ、法門は簡妙を貴ごぶ、無量の妙義無
 邊の功德衆りてこの十句觀音經にあり、諸士宜しく醍醐を飲むの
 想ひを懷きて專念專唱すべし、專念專唱の時能念能唱の我あるを
 見ず、念々心より起り念々心を離れず、念々餘念を雜へざる時、
 忽爾として能所泯滅じて、あらゆる煩惱苦門は一時に消融じ、圓
 通無礙妙用自在の本有を體驗せん是を證位の安心解脫と云ふなり
 、嗚呼何の喜か是に如かん、此處に入信の道者某甲、法悦のたま
 り深く感ずる處ありて、之を廣く有緣無緣の人々にもひろめばや
 こ、勝妙の志願を發起せらる、山僧も亦法喜禪悅の餘り蕪辭を極
 りて卷首に贊す

沙門宗直謹誌

回向

南無大慈大悲觀世音菩薩種々重罪五逆消滅自他平等即心成佛願く
 は此の功德を以て普く一切に及ぼし我等之衆生之皆共に佛道を成
 せんことを

往昔正徳二千辰年九月頃時光寺第廿六世南空上人見山和尚創造致
 され候當郡三十三所の順拜並に詠歌は近年將に泯滅せんとする然
 る處同心の尊宿並に信者衆之不肖そが復古の任に充り古記に改正
 をくわゑ再び上版して順拜の事跡を隆盛に致せしものなり願くば
 我等之衆生の爲に信心を發露して順禮せられん事を

曾根町

發起人 圓通寺住職 松田宗直

延命十句觀音經

觀	世	音	南	無	佛
與	佛	有	因	佛	有
佛	法	僧	緣	常	樂
朝	念	觀	世	音	暮
念	々	從	心	起	念
々	々	々	々	々	々

一 觀音堂
 觀すればらたのひがて海山の
 曾根

松ふしかざりのとのあし

二 番會根圓通寺

六鹿のすみかなれどもあんなつこ

とんにまの月ばへもるがけり